

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-133	20-003	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 三浦克之
題名 (原題/訳) Mental health states and influencing factors of risky and problem drinking in South Korean female adolescents 韓国の未成年女性における危険飲酒および問題飲酒に関連する因子と精神状態		
執筆者 Jeon YJ, Han YJ, Choi MH, Lee JS, Lee JH, Jo SH, Kim SH.		
掲載誌 Public Health. 2020 Aug;185:61-69. doi: 10.1016/j.puhe.2020.04.030.		
キーワード	PMID	
韓国 女性 未成年 危険飲酒 問題飲酒	32570147	
要 旨 目的： 韓国未成年女性における危険飲酒および問題飲酒に関連する因子を横断解析した。 方法： 2017年に第13回 Korean Youth Risk Behavior Web-based Survey (KYRBS)を施行した。123のオンラインでの質問を、13-18歳を対象に行い、43地域の約75,000人の多層性クラスターのサンプルからデータを得た。過去30日間にソジュ3杯以上、ビール2本以上、ウイスキー3杯以上等のアルコール乱用経験を危険飲酒とし、過去12か月にアルコールで問題を起こした事実を問題飲酒と定義し「CRAFT 質問」で評価した。ロジスティック回帰分析を用いて危険因子が危険飲酒および問題飲酒におよぼすオッズ比と信頼区間を算出した。 結果： 62,276人の全参加者の内、現在飲酒者は16.1%、危険飲酒は8.3%、問題飲酒は6.1%に認められた。現在飲酒者の内、危険飲酒は女性55.4%、男性48.5%、問題飲酒は女性38.9%、男性37.2%と女性で高値だった。問題飲酒は最も強く危険飲酒と関連していた(調整オッズ比17.53 [95%信頼区間: 14.63-21.00])。同様に、女性現在飲酒者では危険飲酒は最も強く問題飲酒と関連していた(17.76 [14.84-21.27])。女性における現在喫煙は、危険及び問題飲酒とは2番目に強く関連が認められた。(各々5.22 [3.92-6.95]、2.93[2.21-3.89])。 結論： 韓国未成年女性では飲酒を行っている不健康な者が多い。危険飲酒および問題飲酒は男性よりも女性で最も大きな問題になっており、公衆衛生学的な見地から禁酒を進めなくてはならない。		